

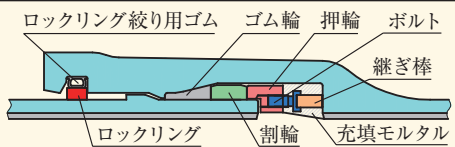
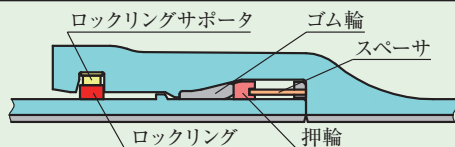
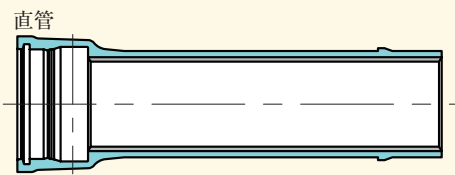

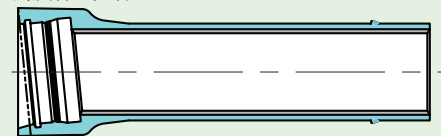
規格ニュース

JDKA G 3002-2〔US形ダクタイトイル鑄鉄管 (R方式)〕

US形ダクタイトイル鑄鉄管は、JIS G 5526・5527、JWWA G 113・114 として規格化され、内面継手の耐地盤変動用のダクタイトイル鑄鉄管として使用されている。

今回、ゴム輪を押輪で受口内面の所定の位置に挿入した後、ゴム輪と押輪の位置を保持するためにスペーサを挿入する革新的な方式 (Revolutionary method) の呼び径 2400 及び 2600 US形ダクタイトイル鑄鉄管 (R方式) を開発・実用化したことから、平成 30 年 4 月 5 日付けで制定した。

JIS、JWWA 規格のUS形管とUS形管 (R方式) の比較を以下に示す。

項目	US形管	US形管 (R方式)
呼び径の範囲	800 ~ 2600	2400・2600
呼び径の種類	1種類	呼び径区分Aと呼び径区分Bの2種類 区分A: JIS、JWWA規格と同じ外径(D2)寸法の管 ただし、受渡当事者間の協定(注文者と製造業者の合意)によって、シールド内径に合わせて、最適な直径方向の寸法に変更できる。 区分B: 呼び径と同じ外径(D2)寸法の管
直管の管厚	1種管、2種管、3種管、4種管	1種管、2種管、3種管、4種管 ただし、角度付き直管は4種管のみ
継手構造 (直管、異形管とも同じ)	 <p>注記 呼び径 1100 ~ 2600 のLS方式の継手構造を示す。</p>	 <p>注記 継手性能は、JIS、JWWA 規格と同じ。</p>
主な相違	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴム輪と押輪の位置の保持: ボルトと継ぎ棒 ・継手部の充填モルタル: あり ・ロックリングの締め付け方法: LS方式 (ロックリング絞用ゴム) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴム輪と押輪の位置の保持: スペーサ ・継手部の充填モルタル: なし ※ボルトと継ぎ棒をなくし、挿し口が押輪の内面を通過して受口奥まで挿入できることから割輪もなくなった。これらの変更に伴って受口の長さが短くなり、継手部の充填モルタルもなくなった。 ・ロックリングの締め付け方法: LS方式 (ロックリングサポータ)
直管の種類	 <p>直管</p>	<p>直管</p>  <p>角度付き直管</p>  <p>注記 曲線管路部分で直管の継手の曲げ角度で対応できない配管に使用する。 角度は、呼び径 2400 は 1° ~ 5° の 1° 刻み、呼び径 2600 は 1° ~ 3° の 1° 刻みである。</p>
異形管の種類	継ぎ輪	<p>曲管 (11 1/4°、8°、5 5/8°、3°)、 継ぎ輪、長尺継ぎ輪、 変換継ぎ輪 (呼び径A-L S方式)、 変換継ぎ輪 (呼び径B-L S方式)、 変換継ぎ輪 (呼び径A-呼び径B)</p>